

事業所名

社会福祉法人 黒潮会
デイ支援センターみんなの力（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

17日

法人（事業所）理念		私たちは、社会福祉法人の名に恥じない信頼される組織を目指しています。経営の透明性をもち、活力ある社会福祉の増進に励み、人を大切にし、ゆるぎない経営基盤の強化に努めながら、みんなが集う地域の明るい福祉の場となるような法人を、私たちは目指しています。																					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの可能性を信じて、個性を生かし、寄り添い、共に成長していけるよう援助していきます。 ご家族の悩みや困り事が解決できるよう援助していきます。 																					
サービス提供時間		①	9	時	30	分	から	12	時	30	分	まで	営業時間	8	時	00	分	から	17	時	00	分	まで
		②	12	時	30	分	から	15	時	30	分	まで	営業日	月～土									
送迎実施の有無		あり																					
		支援内容																					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持、改善：意思表示が困難である子どもの障害の特性及び発達の過程、特性等に配慮し小さなサインでも心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行います。 生活習慣や生活リズムの形成：食事、排泄等の基本的な生活習慣を形成します。 基本的な生活スキルの獲得：こどもが食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、生活の場面における環境の工夫を行いながら、子どもの状態に応じて適切な時期に適切な支援をします。 生活におけるマネジメントスキルの育成：状況に応じて、自己の行動や感情を調整したり、他者に対して主体的に働きかけたりしてより生活しやすい環境にしていくための支援をします。 																					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 保有する感覚の活用：保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援します。 感覚の特性への対応：感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をします。 																					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の特性についての理解と対応：一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援します。また、こだわりや偏食等に対する支援をします。 行動障害への予防及び対応：感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援をします。 																					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得：個々に配慮された場面における人との相互作用を通じて、相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測するといった共同注意の獲得や場面に応じた言動、対応など人との関わり方についての学び等を含めた能力の向上のための支援をします。 状況に応じたコミュニケーション：コミュニケーションを円滑に行うためには、伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握することが重要であることから、場や相手の状況に応じて主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援します。 																					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> アタッチメントの形成、安定：環境、人、自分に対する信頼感を育む支援を行う。自身の感情が崩れたり、不安になった際に大人が相談にのることで安心感や自分の感情に折り合いをつけたりできるような役割を果たせるよう支援します。 情緒の安定：自身の感情や気持ち、生理的な状態像に関心を持ち、その変化の幅を安定させることに興味を持つことができるよう支援し、変化の幅が小さく安定した情緒の下で生活できるよう支援します。 																					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 定期的なモニタリングの実施と療育への反映。 子育てに困難さを感じているかなど、家族の困り事に寄り添いながら、気持ちを受け止め、相談に対する適切な助言等の実施。家庭環境の整備。 									移行支援			<ul style="list-style-type: none"> 移行支援シートの活用。 併行通園先との連携や移行への支援。 									
地域支援・地域連携		併行通園先や保健センター、相談員、ご家族その他関係機関を含めた定期的な情報共有。									職員の質の向上			<ul style="list-style-type: none"> 児発管による月案、日案等の添削及び指導 気づきシートの活用 定期的な講習の参加、業務に関係する資格の取得 毎月2回のスタッフ会議（活動計画、行事計画、支援検討など） 									
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 遠足 年長児によるお店屋さん（療育参観） 食育活動、季節に応じた制作活動等 																					